



青少協だより



第63号

明るく伸ばそう むつあいの芽

平成26年(2014年)6月30日発行
六会地区青少年育成協力会

会長 五十嵐直美

今年度より、青木会長の後任として会長を務めさせていただくことになりました。

青少年育成協力会の活動は、地区内の小中学校の児童・生徒を対象に、主に健全育成を目的としています。毎年実施している主な行事として、各小学校の児童を対象とした野菜ハイキングは、六会地区の農家のご協力をいただき、収穫体験と自然豊かな地区内を歩きます。また、夏休み中の愛のパトロールは、PTAや先生方、諸団体の方と、子ども達の通学路を実際に歩き、危険箇所などの情報交換をしています。

子どもはおとなや先輩を見て育ちます。子どもに真似をされてもいいように活動を通して学び、おとなたちの顔がつながり、安心して生活できる六会であるための活動を継続してまいります。学校、PTA、地域の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



本年度の新役員です。よろしくお願いいたします。

監事 安西昭夫
(保護司)

今年度より保護司として青少年育成協力会に参加させていただくことになりました。

保護司は、再び犯罪を起こさないように罪を犯した人に寄り添って更生していただくボランティアです。いま一方で犯罪のない明るい社会を作ること大切な活動です。担当して見えたことは、非行や犯罪に走った少年は、家族の愛情不足、いじめにあっても解決できないで苦しんだ人でした。そのような時、心のよりどころにしたのが不良仲間でした。このような流れを作らないようにするには、青少年育成と非行防止を目的とした青少年育成協力会の活動が最も大切だと思います。一緒に活動できることに感謝いたします。

副会長 泉 嘉彦
(六会中学校教諭)

日頃より六会中学校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

今年度より六会中学校で生活指導を担当し、六会地区青少年育成協力会に参加させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

毎朝、校門に立っていると、子どもたちが気持ちのいい挨拶をしてくれます。それと同時に、地域の方も「おはようございます。」「ご苦労様です。」と声をかけてくださり、すがすがしい1日のスタートをきることができています。感謝の気持ちでいっぱいです。今回、六会地区青少年育成協力会に参加させていただき、青少年指導員の方々をはじめ、民生委員さん、保護司さんなど、様々な立場の方が、子どもたちの育成のために真剣に話し合い、情報交換されている姿に感激しました。より地域の方々に親しまれるような六会中学校を目指し、たくさんのお力添えをいただきながら活動していきたいと思っております。

監事 中尾 和子
(民生委員児童委員)

4月より青少年育成協力会に民生委員児童委員協議会から参加させていただくことになりました。

初回の顔合わせでは、子育て真っ最中の若いお母様方のパワーを感じつつ、悩み多き子育ての時期を思い巡らせておりました。子ども達の幼少期4度の転勤、引っ越しを経験し、各地域色豊かな語り尽くせぬ大事な友人・恩師との出会いや経験は、親子共々素晴らしい時間の記憶として今に繋がっていると感じています。

私たちおとなの言動が与える子どもへの影響はたいへん大きく、時代の背景や様々な環境により悩みも変化していきますが、どうか子ども達の心の声を大切に、優しい目線で乗り越えていきましょう。

そしてさらに青少協の活動が広く地域の方々に周知され機能していくことを望み、大切な子ども達の育成に心を傾けながら、活動に参加していけたらと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。